

2024年12月7日（土） バガヴァッド・ギター勉強会

- ・ 朗誦：第1章11節～第1章20節
- ・ 勉強：第6章1節

おはようございます、ナマステ

我々はインド大使館でバガヴァッド・ギターの勉強を始めたのがたぶん2010年からかもしれない。その時から14年以上続けています。もちろんコロナ関係で時々なかったですが。

11月のバガヴァッド・ギターの勉強買いに参加できませんでした何人いますか、手を挙げてください。4人ぐらいですね。

11月の話のとき、瞑想がどのくらい深くできるか話がありました。

もう1回少し要約しましょう。もちろんHPにアップロードしてありますね。

一番最初 No.1 は、信仰深い。

瞑想はいろいろ方法で我々を助けます、信じる。

どのように助けますか、以前に説明しましたから省略します。

それから No.2 は、それを決意、*determination*。

体の状態・心の状態がどうでしょうか、そのことを気にしないで、瞑想を絶対にします、と決める。それが大事。我々、皆さん決意の経験ありませんか？

体調よくない、気持ちも優れない、ですけれども、事務所に行かないといけない。

ありませんか？ それは決意ではないですか？ 瞑想も同じようにその様な決意が大事です。

No.3、瞑想はしてもいい、しなくてもいい、どっちでもいい、そうではない。

絶対しないといけない。

今の我々の毎日の生活に於いては、瞑想が「絶対（しなければおさまらない）ファクター」でないです。ですから、止めました。

しかし、心の健康のために、靈的な為にも、瞑想は絶対しましょう。

それから、No.4は、大事なポイントです、一番の大きな障害は我々の中（内）にあります。

それは我々の心です。心はいつも反対します。どうして？

何故なら、心の自由が無くなるから。心は自由が大好きですから、心は瞑想が嫌いです。

No.5、皆さん瞑想を始めますけど、途中でやめています。そのケースも多々あります。

瞑想の対象は何ですか？ わからない、そして、混乱があります。

どのようにやる気を、瞑想を続ける為にやる気を、つukらないといけません。

No.6、集中できない、その為に前回言いましたね。

瞑想の前、自分の好きな神様について、自分の好きな悟った人について、本、テキスト、物語、回想録を読んでください。

そして、思いながら瞑想を始めてください。思い出して瞑想を始めますと、大いに助けます。

そして、心に絶対命令をします。

別のことを考えないようにして瞑想の対象のことだけ考えてください。

何故なら、我々は心の持ち主です。心は我々の召使です。

そのことを理解して、心に、それを命令しましょう。

No.7、欲望がいっぱいだったら、心は静かにならないです。

瞑想の為の条件は、心静か、です。

欲望がいっぱいありますと、その欲望を満足したい、それがいつも心の中に出ますね。

例えば、風がありませんと、湖、池、その水面は静かです。風がありますと波が出ます。

同様に、心の中にいっぱい執着と欲望があります、と、それは風みたいです。

心は静かにならない。気をつけて色々識別して、欲望をコントロールしないとイケない。

その為には識別をしないとイケないですね。

No.8、それから、もう一つは大きな問題です、

集中して瞑想できない原因は、我々は瞑想の時間以外の他の時にはいつも、

一時的なこと& 世俗的なこと、を考えています。ですから、

その種類の考えは（現在意識に 顕在意識に）自然で現れ出て来ます。其れを理解して、

瞑想の時間以外も神様と自分がつながっている状態を できるだけつくったほうがいい。

No.9、もう一つは、神への愛。神への愛を増やしますと瞑想がもうちょっと楽になります。

何故なら愛した人や愛したものを考えるのは普通のことではないですか。

その様に神様を好きになったら、そして、神様の信仰を増やしますと瞑想は自然で出来ます。

そのことあります。その為に、神様は我々の、永遠の友達、永遠の親戚、永遠の避難所、

神様と我々の関係は永遠ですから、その事を智って、神様の事をずっと考えたほうがいい。

No.10、ライフスタイルの話ありました。バガヴァッド・ギーター6章の中にあります。

食べ過ぎない、寝すぎない、働き過ぎない、で、適度にコントロールして、が理想的です。

毎日の生活バラバラ、寝る時間バラバラ、起きる時間バラバラ、、、

その様なイレギュラー (*irregular*) 不規則な生活では瞑想は難しいです。

毎日の生活も気をつけないとイケない。

「瞑想のやる気」をつくるために、「瞑想はどのように我々をたすけるのか」

バガヴァッド・ギーター等の聖典を読むと、瞑想のやる気が続きます。

聖典の勉強は毎日毎日することが大事です。

No.11、最後のポイントは 忍耐 がとても大事です。忍耐について果物のことわざがあります。いっぱいあります。みなさんのイメージは2つだけ。そうではない。

「桃栗三年、柿八年、梅は酸い酸い十三年、梨はゆるゆる十五年、柚子の大馬鹿十八年、蜜柑のまぬけは二十年」

そして、つまり何が言いたいのか、それは、忍耐が必要、ということ。
瞑想を始めて、そして次の日、サマーデーに入りたい、
それは無理ではないですか？

次の日、ニルヴィカルパ・サマーデー (*Nirvikalpa samādhi*)* !!

*ヴェーダーンタ哲学の考え方で瞑想者とブラフマン トマンがひとつになる /

『パタンジャリ・ヨーガの実践 ~そのヒントと例~

スワミー・メダサーナンダ著 日本ヴェーダーンタ協会』 P204 ご参照ください

無理ではないですか？

そのことを理解する為に自然の例を使いました。

希望したからとて直ぐに「実（フルーツ）」は出来ない。

瞑想も同じことです。自然で果実（くだもの）は直ぐに出ない、です。

十分な時間がかかります。 論理的です、ね。

最初は、心をきれいにしないとイケない、それから神様のこと集中して考える、です。

心をきれいにするのがどのくらい大変か知っていますでしょう。

怒りのコントロール、欲張りのコントロール、嫉妬のコントロール、時間がかかりませんか？

希望だけでは直ぐにはなおらない、ですね。

今日は、第6章の勉強 ですね。

大事なポイント、ディスカッションがあります。ほとんど、瞑想について、です。

・一つには、座る。

瞑想は座らないとイケない。長い時間、座る。

アドバンス（前進）すれば、歩きながらも瞑想できます。話しながらも瞑想できます。

其れは、ある程度進んだ後（7ト）でのことです。

最初は座らないとイケない、座らないと瞑想ができない。

・深い瞑想のシルシ、は何ですか？ それも、あります。

・瞑想の対象、

・毎日の生活について、その話もあります。 全部、瞑想に関係がありますからね。

・心と感覚のコントロール、の話もあります。

- ・瞑想の結果、は何でしょうか、それもあります。
- ・瞑想の時、瞑想の結果、喜びはナカ（内）から出ます。よろこびの基因は普通は外からです。我々は経験が多々ありますね。よろこぶ行為はナカですけど、よろこびの基は外です。好きな人、愛する人のことを想うとよろこびが出ます。其の人は自分では無い、外です。いっぱいのご馳走、ディナーパーティ、食物によろこびます。其らは外です。それから、旅行に行く時素晴らしい景色を観てよろこびます。景色は外ではないですか？美しいミュージックを聴いてよろこびます。其れも外からです。そのことを考えれば、全部、よろこびの基因は、外です。

瞑想の喜びの源は、ナカ（内）です。大きな違いです。それが基です。
世俗的な喜びの基因は外、靈的な喜びの基（毘）因（因）は、内（ナカ）、大きな違いです。皆さん解りますか？

瞑想を続けて、けっこうレベルが上がった後、時々墮落します。聖典の中に例があります。プラナー、叙事詩にもあります。ある聖者は、一所懸命瞑想してレベルが上がりましたが心の中に汚いもの未だ残っていたから、その結果で墮落しました。それについてアルジュンが質問しています。「その方の状態はどうなりますか？」全部無駄になりますか？ 実践してある程度レベル上がっています、が、無駄になりますか？「なりません」 シュリ・クリシュナは解答しました。それが6章の大事なポイントです。

今日は、6章の勉強 を始めますね。
6章の1節を見てください。少しずつ唱えます、皆さん繰り返してください。

(朗唱する)

言葉の意味です。

アナーシュリタハ 欲しくない
シュリタハ 避難所に執われぬ. 執着し無い・離欲

Karma カルマ (以下、『240203glossary』より引用)

行為。義務。儀式礼拝。哲学的には行為及び行為が原因で生じる結果を意味し、

- ・プララブダ *prarabdha* 今生で実を結び始めている、
- ・サンチタ *sanchita* 過去の行為の膨大な蓄積。まだ結果は刈り取られていない、
- ・クリヤマーナ *kuriyamāna* 将来刈り取られるであろう がある。(引用完)

ファラン (ファラー: *phala*) 結果、果実
カーリヤン 仕事、義務
カローティ しています、働いています
サンニャーシー 出家、放棄している状態の人

サン *Sam* : 完璧に ニャーサー *nyāsa* : 放棄

Sam - nyāsa → *Sannyāsa* : 全部放棄する状態

Sannyāstī : 放棄できた人

antah - Sannyāsa *vahih - Sannyāsa* 二つサンニャーサーがあります、皆さん理解してください

1) *antah - Sannyāsa*

ナカ (内) から放棄します たとえば家住者、家から出ません、家族から離れていません。
ナカ (内) には欲望は無し、執着も無し。その例もあります。
福音の中に、登場する直弟子 (ジギギシ) の中には在家 (ザイ) も居りましたでしょう？
例えば、Mさん。ナーグマハーシャ。『謙虚な心』本、ありましたね。

2) *vahih - Sannyāsa*

家族から離れてお坊さんになります、だけではなくサンニャーシーの色々シルシありますね。
服は、インドでサフランカラーの服を着ます。それで皆さん分かります。

antah - Sannyāsa & *vahih - Sannyāsa* 両方、必要です。

厳しい基準は、最初 *antah - Sannyāsa* した後、*vahih - Sannyāsa* になります。

ナカ (内) から全部放棄した後、家族から離れます。

そうしないと *vahih - Sannyāsa* だけで、心の中にいっぱい欲望・執着があると、其れは見せかけになります。ですから、両方できる人を普通はサンニャーシー、と言っています。

ナカ (内) のサンニャーシー、その種類の人を (凡夫が) 理解するのは無理です。

その方はどなた？ 家族の中にいます、普通の仕事をします、お金を稼ぎます。ですけれど
ナカ (内) はきれいです。執着も無し、欲望も無し。

『カルマ・ヨーガ』の本の中にその事ありましたね。

ある方は肉を売っていましたが、その物語、覚えていますか？

スワミ・ヴィヴェーカーナンダの本にあります。

仕事は肉を売る。それは低い身分ではないですか？

その種類の仕事ですけれども、ナカ (内) はとてもきれいです。

欲望なし、執着なし。その人は家族と一緒に住んでいます。

Antah - Sannyāsī の例です。お父さん、お母さんのお世話をしています。

『カルマ・ヨーガ』ありますか？

『カルマ・ヨーガ 働きのヨーガ』スワミ・ヴィヴェーカーナンダ著 日本ヴェーダ協会
四 義務とは何か (P99～P102)

サンニャシーが魂と神について二、三の質問をすると、このヴィヤーダ（注＝猟師や肉屋として生計を立てる最低階級者）は、彼に一連の説法を与えました。それはヴィヤーダ・ギターと呼ばれてマハーバーラタの一部を形成し、ヴェーダの最高境地のひとつを示すものです。講義が終わったとき、サンニャシーは驚嘆しました。彼は言いました、「あなたはなぜ、～（途中省略）～」するとヴィヤーダは答えました、「私の息子よ、醜い仕事、不浄な仕事などというものは、ありません。私はこの場所に生を受けたのです。子どものときに、私は商売を習いました。私は執着心を持たず、自分の務めをよく果たすようにしています。家住者としての義務を果たし、父母をできるだけ幸せにしてやるよう、努めています。私はあなたがなさるヨーガも知らず、サンニャシーになってもいいし、世間を離れて森に入ったこともありません。それでも、あなたがここで見聞きなさったことはすべて、私の身分に定められている務めを無執着の心で行うことによって、わがものとしたのです」と。

読んだこと、ありますか？

『カルマ・ヨーガ』の本の一部分だけを読んだだけでは、或はヨガ認定のパスの為にだけ、『バクティー・ヨーガ』の本も試験をパスする為にだけ一部分だけ目を通しただけ、では、目的が異なります。全部を読まないといけません。

Antah-Sannyāsī の例は他にも物語があります。

ナーグマハーシャ、ギリッシュ・チャンドラ・ゴーシュ、Mさん、がそうです。

シュリ・ラーマクリシュナに何度も頼みました。

「本当はサンニャシーになりたいです。家族から離れたいです。」

直弟子のヴィヴェーカーナンダ、ブラフマーナンダジと同じ様に。何度も、何度も頼みました。

シュリ・ラーマクリシュナはいつも反対していました。「要らない」、と。

どうして「要らない」？

「あなたは、家住者の信者（*House of Devotees*）のまま理想的になってください」

シュリ・ラーマクリシュナの例があります。

船が水の上に浮かんでいる、それは問題無し。

もし反対だったら問題です。船の中に水が入ると沈んでしまいます。

そのように家族と一緒にいる、問題無し。

心の中に、家族は入ら無い。その状態をイメージして家族と一緒に住んでいても構いません。

例が解りました？ 例はおもしろいですが、実践するのはとても大変難しい、です。バウルのソングがあります。

(マハラージがお歌いになる)

(笑いつつ) 之の意味は、沐浴しますけど髪に水は入りません。その感じで沐浴します。池に入ります、川に入ります。ですけれども、ある部分が濡れない。沐浴しても、濡れない！一つの歌、バウルの歌、おもしろい歌です。

深意は、世俗のものの中に入っても、周囲（マワリ）全部世俗のものありますけど、その影響は私には何も出ない。簡単ですか？ 周囲（マワリ）の人間が皆、世俗の者。見た感じで何処にも書いていない、会社に入りますと名刺があります、けれども、肩書きに世俗者とは書いて無い。ですけれども、考えは世俗的です。普通それではないですか？

周囲（マワリ）皆、世俗ですけれども、自分の中に世俗のものは入りません！是（コレ）、靈的です。楽（ラク）ですか？（笑）我々は周囲の世俗者から影響を受ける可能性が大いにあります、自分が影響を其の者に与えることは無しと言えども。本当はサンニャーシーが、然りです。その様な環境に居ても自分の考えは世俗的に非ぬ。いつも神様のことを考えて居る、それがチャレンジです。家主者の為に理想的なことは、何ですか？

Antah - Sannyāsī !

それがなかったら、サンニャーシーの服だけ着ましても、全然よくないです。

1) *Vidwat - Sannyāsī* 2) *Vividishā - Sannyāsī* ~ 2種類のサンニャーシーについて~

1) *Vidwat - Sannyāsī*

自分の内（+カ）の欲望や執着を全て放棄できた後、家族から離れます、出家者の服を着ます。

2) *Vividishā - Sannyāsī*

ヴィヴィッディシヤ・サンニャーシィは、未だに全部を放棄していない。未だに執着が残っています。ですけれども、世俗的な者の様に執着も欲望もいっぱい状態、其れではないです。

執着・欲望が全く無しでは無いが、未だにあります。
ですから、その為に、家族から離れて実践します。
そして、チャレンジは、修行を通して実践を通して
未だに残っている欲望と執着をだんだんに放棄します。
それが違う。我々普通のお坊さんは、No.2 のカテゴリーに属しています。

一番理想的は、最初から放棄している No.1 。
執着・欲望を 全部放棄した後で、家族から離れています。
そして、サンニャーシーの服を身につけて、家族から離れた後、森に入ります、アシュラムに、等々
で、サンニャーシーの実践をします。

一般のお坊さんは、No.2 の *Vividishā - Sannyāsī* です。
No.1 の *Vidwat - Sannyāsī* は、とてもとても珍しいです、*exception* (例外・異例) です。

(参加者) マハラージはそのような方にあつたことはありますか？

(参加者) マハラージのグルがそうです！

答えはそんなに簡単ではないです、質問は簡単ですけども。

< 6章の1節 >

すべてのカルマの結果、其れを欲しくはない、ですが、
仕事(義務)はずっとやっています。
その種類の人が、サンニャーシーです。そして、ヨギー もいます。

毎日毎日の儀式、昔、やっていました。
その儀式の為に「火」が必要でしたから、家の中にはいつも「火」を用意しています。
何故なら、儀式の為に「火」(アグニ)が必要ですからね。

1) ナー ニル アグニール (*na niragnir*) : その種類の毎日毎日の儀式をしてない人

2) ナー クリヤハ (*na kriyah*)

皆さん、他者を 扶ける為に、色々なやり方で、例えば、
巡礼者を扶ける為に食事の場所を作る、
巡礼者が歩く時に影をつくるために木を植える、
巡礼の場所に行く道の途中の所々に沐浴のための池をつくる、
巡礼者が泊まるために場所をつくる、
そういった種類の 御接待などの務め を、やってない。
義務をしない、毎日毎日の儀式をしない、そして、他者を助ける為の務めもしない。
其れらは、サンニャーシーでもない、ヨギーでもない、です。

二つの言葉を使っていますね、「ヨギー」と「サンニャーシー」
「ヨギー」と「サンニャーシー」は、同じですか？
どうして、「サンニャーシー」だけ、「ヨギー」だけを使わないで、
両方を使っていますか？

「ヨギー」と「サンニャーシー」は、何が違う？

皆さん、「ヨギー」と「サンニャーシー」ほとんど同じ意味で、使っていませんか？

(参加者) 実践のやり方？

本当は、両方、もちろん 霊的な方 ですね。
違う、のは、「サンニャーシー」には色々なシルシがあります。

「ヨギー」にはその種類のシルシは無し、です、わかりますね。
シルシの関係で、例えば服。「サンニャーシー」の外のシルシでしょう？
一方、どなたが「ヨギー」ですか？
「サンニャーシー」も「ヨギー」になることもできます、
家主者（カジュウシャ）も「ヨギー」になることもできます。
シャマチャラン・ラヒリの名前を聞いたことは、ありますか？

『Autobiography of a Yogi』日本語で『あるヨギの自叙伝』（森北出版）著者
パラマハンサ・ヨガナンダというヨギーの名前は聞いたことありますか？
その方のグルのグルが シャマチャラン・ラヒリ（ラヒリ・マハサヤ）
その方は家主者でした。ベナレスで住んでいました。
今もベナレスにその方のお宅はあります。表札も残っています。
シャマチャラン・ラヒリの信者は、今の時代も残っています。
二つのブランチがあります。
一つは、放棄したパラマハンサ・ヨガナンダ。是れはサンニャーシー。
もう一系統は、シャマチャラン・ラヒリの息子の息子の息子の息子。
こちらは家主者。

シュリ・ラーマクリシュナも同じでしょう？
直弟子（ジキデシ）はサンニャーシー。
一方、シュリ・ラーマクリシュナのお兄さんの孫の孫の息子、ひ孫、で
家主者で、今も、続いています。カマルプクールに住んでいますね。
この方はあまりイニシエーションを与えていない、マントラも教えてない。

シャマチャラン・ラヒリに自分の息子もいました。
此方の line-age（系統）は、マントラを教えています。

もう一つの系統は、出家者。例えば、パラマハンサ・ヨガナンダが出てます。

Self-Realization Fellowship セルフ・リアライゼーション・フェローシップ

ハリウッドの近くにそのセンターがあります。

ハリウッドには スワミー プラヴァヴァーナンダジー が ヴェーダンタ協会の支部 を
設立されました。パラマハンサ・ヨガナンダ も同時代（1920年）に設立されてます。

その シャマチャラン・ラヒリ（ラヒリ・マハサヤ 1828-1895）の
とても面白い話があります。

『その方の仕事は 測量士 でした。ある時 遠いところに仕事の関係で行きました。
山、森、その種類の場所に行きました。
その人は若い時から内向的で、ひとりで考えることが好きでした。
ひとりで考えながら歩いていました。

その時 突然、遠くから声が聞こえてきました。

「シャマチャロン」 「シャマチャロン」

その名前、どなたが呼んでいます？

びっくりしました！ 私の名前呼んでいるのは、どなたですか？

「シャマチャロン」 「シャマチャロン」

その声は何処？ 探して探して あるお坊さん サンニャーシー に出会いました。

ヒゲがいっぱいで髪が長いサンニャーシーが呼んでいます。

「シャマチャロン」 「シャマチャロン」。

とてもびっくりしました。けっこう 歳をとったお坊さんです。

ゆっくりゆっくりその方に近づきました。。

その方は言いました、

「一緒に行きましょう。」

一緒に行きました。そして、洞穴の中に入りました。古い昔の洞穴です。

一緒に洞穴の中に入りました。サンニャーシーは尋ねました。

「シャマチャロン あなたは 覚えてますか？

前世に あなたは いろいろ 霊的な 実践して 瞑想した、

その場所は此処です！ 此れがあなたの瞑想のマットです。

覚えていますか？」』

前世のことです、そこから、始まりました。

シャマチャラン・ラヒリは、「ヨギー」と言ってます。

「サンニャーシー」とは言っていない。「ヨギー」です。

「ヨギー」と「サンニャーシー」の違い

「サンニャーシー」は、例えば、すべてを放棄しています、そのイメージが大きい。

「ヨギー」のイメージは何ですか？

心をととてもとてもコントロールして、神様のことを考えている
心がとても静かあ～です、そのイメージですね。

「ヨギー」のイメージは、ヨガの関係のことだけではなく、
カルマの結果は全部放棄してますから、カルマの結果は欲しくない
ですから、心は静かあ～になりました。

我々は心がどうして動いています？

我々は欲望があります。その欲望を満足する為に色々やっていますでしょう。

最初に欲望が出ます。次にそれを満足したいと考えます。

次の段階は、その為にやらないといけない、ですから、やります。

次の段階は、そのやり方で、私は欲しいものができるか否かの心配が出ます。

もし満足することができたら、うれしい。できないなら、悲しい。

その状態ではないですか？ その状態が出ますと、心は、結局、動きませんか？

心は、静かにならないでしょう？

そのような感じで心の中に、段階が発生します。最初は、

1. 欲望
2. 欲望を満足したい
3. 実際に行動を起こす
4. 結果がどうか心配
5. 満足が得られたらうれしい、得られないとよろこべない

1回で満足できないなら、もう1回やってみよう、やる気が出ますでしょう？その感じで、

我々の欲望は一つではないですから、いっぱい欲望がありますから、

我々の心は、其の結果で、いつも、いつも、いつも、とお～つても、とても動いています。

心が落ち着かない、の状態が出ています。

内省しますと解りますね。我々の心は、その状態ではないですか？

その状態だったら、「ヨギー」にはならないです。

「サマーヒタ」という言葉があります。

「サマーヒタ」の意味は、心の中に何も欲望ない、ずう～つと、静かあ～です。

サマーヒタ・チッタ

「チッタ」は「心」。

サマーヒタ・チッタは、とてもとても **静かあ〜な 安定した 静けさ** の心の状態。
それが サマーヒタ・チッタ。「ヨギー」のイメージが、其れです。

その人は、「ヨギー」も「サンニャーシー」も居ります。

次の節（第6章-2節）の中にも、「ヨギー」と「サンニャーシー」が同じです。

内（ナ）の状態を考えれば同じ、外のシルシを考えないで、心の状態を考えます、と同じです。

「サンニャーシー」も「ヨギー」、「ヨギー」も「サンニャーシー」です。

そして、条件は何ですか？ 放棄する、其れだけでは条件ではないです。

皆さんは、色々な訳（ワケ）があつて家族から離れてます。

例えば、自分の家族の関係があまり上手（ウマク）っていないからです、家族から離れてます。

其れはお坊さんですか？

家族の関係を上手（ウマク）続けられないから、関係をやめましょう、

その様な者を「ヨギー」と言いますか？

「ヨギー」とは言わないですね。

もう一つは、お金をけっこうローン、銀行からいっぱい借金しました。

Repay debt 返済できない。ですから、家族から離れました。

そのようなケースがありますか？ or 否？

ホームレスの中にもいます。その者は「ヨギー」ですか？

例えば、好きな人との結婚ができませんでした。

それで、とても悲しんで「OK、家を出ます」、結婚はしない。

その者が「ヨギー」ですか？ いっぱ〜い、その種類の例があります。

『ラーマクリシュナの福音（日本ヴェーダ協会刊）』の中にもおもしろい話があります。

仕事を探していますが、仕事はみつかっていない。お金を稼いでません。

そして、ベナレスに。家から離れて、ベナレスに行った。

ベナレスに行く、そのイメージは、家族を放棄して巡礼する、その場所がベナレスですから、

「ベナレスへ行く」ということは、靈的な実践をする為に〜、と、皆さんに思われます。

ですけれども、ところが3ヶ月ぐらい後に、手紙が来ました。

「私の為に心配しないでくださいよ。こっちで仕事を見つけましたからね！」（笑）

その種類の例もありますよ、それは「ヨギー」ですか？ その者を「ヨギー」と言いますか？

色々な理由で、これ、みんな実際にある話でしょう？

借金が返済できないですから家族から離れています、など

その者は「ヨギー」でも非、「サンニャーシー」でも非、です。

「働（ハタラ）き」を止めて「働（ハタラ）かぬ」其れだけでは「ヨギー」にはならないです。

義務（ギム）・義しい務め（タダシイ ヲトメ）

お母さんのお父さんのお世話をしないといけない。

それで、家族から離れて、自分は自分の為にお坊さんになります、其の例もあります。

結婚した後でお坊さんになる例もあります。

お母さん お父さん 居ります、奥さん 居ります、息子 娘 います。

ですけれども、ぜえ〜んぶ 放棄して、家族から離れて お坊さんになりました。

どうしてお坊さんに？

その本当の理由は、神様ではない。神様が好きですから霊的な実践したいから、そうではない。

義務をしないで済む、それをイメージしてお坊さんになった、のです。

『ラーマクリシュナの福音（日本ヴェーダーンタ協会刊）』の中にも、例があります。

ある住者は、結婚して奥さんも息子も娘もいます、ですけれども、ドッキネッショル

お寺に来て泊まっていました。シュリ・ラーマクリシュナの居る宿坊に来た目的は何ですか？

シュリ・ラーマクリシュナの近くに居って、霊的な実践をしたいから、です。

シュリ・ラーマクリシュナは尋ねました、

「あなた、結婚していますか？」

「はい」

「息子、娘いますか？」

「はい」

「今、奥さんと息子や娘、どなたが面倒をみてますか？」

「奥さんのお母さんとお父さんが、面倒をみています」。

シュリ・ラーマクリシュナは、とても怒った！

「あなた結婚しました。奥さん居ります、息子も居ります、娘います。それなのに、

あなたの奥さんのお義母さんとお義父さんが、家族の面倒をみています、ですって？

とても恥ずかしいことではないですか？

家に戻ってください！」

とつても、叱りました。

自分の義務をしないで、逃げている状態です。それは、家族から離れての「放棄」ではない。

義務は、自分の奥さん、息子らの面倒みる、それが義務でしょう。そうしないで逃げて居ります。

お坊さんになりたい、霊的な人になりたい。全然ダメです。その種類は「放棄」に非。

皆さん、大事なポイントは何ですか？

心 静かあ〜、欲望 無し、執着 無し。

その状態が一番大事です。本当は、「外の放棄」は、そんなに大事ではないです。

一番大事なのは「ナカ（内）の放棄」。

その真の意味は？

執着は無し、欲望無し。

それが、ポイントです。

バガヴァッド・ギーターの中に於いても、シュリ・クリシュナが言っています。

義務をしないで居るあなたは、「ヨギー」にも「サンニャーシー」にもならない、です。

義務や仕事をやめたからと言って「ヨギー」にはならない、「サンニャーシー」にはならない。

もちろん、義務はしないとイケない。但し、義務の結果が欲しい、に非。

それが大事です。欲望を満足する事と、義務、それは違います、二つは別々の事です。

義務とは、例えば、自分の家族をサポートする、それが義務です。

自分のお父さんお母さんのサポートをする事は必要な事です。それが義務ではないですか？

その為に仕事をする。

欲望は、何ですか？ 欲望は、色々と出ますけれども、本当は必要ではない。

生きる為に本当に必要なのではなし。遊び。欲張る。その関係で欲望がいっぱい出ます。

何が違うか理解していますか？ 義務とは何か？ 欲望とは何か？

義務をする、その事を欲望とは言わないです。

自分の生きる為に、家族の生きる為に、両親の面倒を見る為に、それが義務です。

もう一つ大事なポイントは、

その義務を遂行（スイコウ）しても、その結果を欲しく（望んで）無い。

その意味はちょっと難しいですが、大事なポイントです。

義務をする目的は何ですか？

自分の家族のサポートの為に、です。働き（ハタラキ）をしても、

働き（ハタラキ）の結果（果報）を欲っして（求めて）無い。

ですけれども、サラリー（給料）が欲しくないですか？

そうしないとサポートができません。

カルマ - ファラー（*karma-phyla*） = 「義務」 - 「果実・結果」

何の意味で、そのことを言っていますか？

真の意味は、我々は「望ましい *standard of life*（生活水準）」を望まぬで、サポートをする為に行うことが必要だから、です。その為にお金を稼ぎます。

何故なら、我々の家族の中にも神様が居ります。

もう一つには、もしお金があったら、そのお金で困って居る他者を助けます。

そのことを覚えておいて仕事します。

そうしますと、サラリーをもらいまして、其れは欲望ではないです。

是れ、「カルマの 果実・結果 が欲しくは無し」と同じことです。

一方、「カルマの結果が欲しい」、その意味は、いつも欲望の関係で出ます。
欲望を満足させたい、その為に行為（カルマ）をしますから。

「カルマの結果を放棄する」、「カルマの結果に執着しない」、其れは **義務** だからです。
サポートの為に お金を稼がないといけない。 そうして、
お坊さんたちをサポートする、困って居る他者をサポートする、関係の無い者をもサポートする。
その種類の働き（カルマ）をしますと、其れは欲望では無し、欲望を満足するのでは無し。
「カルマの 果実・結果 を 欲しくない」、とはそういう意味です。

一方、もし、我（ガ）の欲望の為にしますと、
そのカルマ（行為・働き・仕事）の結果を欲しいが為にしますと、
そして、また、執着をもって仕事をしますと、
「カルマの 果実・結果 が 欲しくは無し」でも無し、離欲（サンニャーサー）でも無し。

とても精妙な違いがあります。
その意味でカルマ（義務・働き）をします。
アルジュナにシュリ・クリシュナはどのように助言をしましたか？

「あなたは戦ってください」

※ 第2章 論理的思考の道 47節,48節,49節,50節 ご参照ください

もう一つには、どのようなやり方がありますか？
ビジネスをやっている実業家・経営者（サラリーを貰って雇われて居るサラリーマンとは違う）
も、サラリーマンも もっと高い給料が欲しいのだったら、その為に別の仕事を探します、ね。
もっと多くのお金が欲しい、そして手に入るの「カルマ（働き・仕事）の結果」でしょう？
多くのお金が欲しい、其れが目的。 本当に もっと多く必要なのか or 否か？
今の給料で十分に生きることが出来ます、面倒をみることも出来ます、そうであるならば、
もっと多くのお金が必要では不（ナ）ならば、その為に別の仕事を探さなくてもいいです。
欲張って、もっと稼いで、もっともっとお金が欲しい、その欲望の為に別の仕事を探しますと、
その結果、もちろん、カルマ・ファラー（*karma-phyla*）に執着となる。

Mさんは、その質問をしました。

「私はもっとお金が欲しい。それで、もっとよい仕事を探します、そうしますと、ダメですか？」
普通の人の質問はそうでしょうか？ シュリ・ラーマクリシュナの答えは、こうです。

「もし、あなたが、そのいっぱいのお金を、自分の家族だけではなく、関係の無い他者を助ける為
に使うのでしたら、そしてまた神様の為に、神様のお世話をする為にそれを使うのでしたら、それ
は問題ないです。ですけれども、自分と自分の家族の為にだけ、
或いは、もっと生活水準がとても高くなることを夢想して、いっぱいお金が欲しい！
そうだったら、その種類は欲望ですから、
『カルマの結果を求めぬ行為（離欲・放棄に同じ）』では無い。」

神様の為に、困って居る他者のサポートの為に、
その為には、もっとお金が欲しい、ので稼ぎます、
そうしますと、これは 放棄（離欲）です。
カルマ - ファラー（*karma-phyla*）について、執着は無い。

欲張って
自分の利己的な目的でカルマをやりますと
その「カルマの結果（行為・業の因果）」、
我々の「束縛の原因」となります。

※詳しくは『輪廻転生とカルマの法則 スワミー・メーダサーナンダ著 日本ヴェーダンタ協会』
P122～P123もご参照ください

～今日はここまで。次回は1月4日（土）です～